

# 鳥上小アーカイブ

鳥上小学校は今年度で開校145周年となります。卒業証書の番号は昨年度までで3612番(人)です。(大正期からの通し番号です)  
今号では戦後からの児童数の推移や写真などをもとに鳥上小の歴史を紐解いてみます。(事実と違う記述、他の資料や伝承などがありましたら学校までぜひ情報提供をお願いします。)

## 開校から昭和20年ごろまでのあゆみ

- 明治7 鳥上小の前身となる籾川小学校が創設
- 明治14 4月 中丁に校舎新築
- 明治14 12月 学区改正により横田小学校大呂分校、竹崎分校設置
- 明治24 両校合併、鳥上簡易小学校 校舎新築
- 明治25 鳥上尋常小学校に
- 明治26 10月 暴風雨洪水により校舎流出  
11月 妙巖寺本堂を借り、仮校舎とする
- 明治31 新校舎落成
- 明治32 竹崎分教場設置
- 明治37 鳥上村大呂尋常小学校と改称  
竹崎分教場廃止し鳥上村尋常小学校設置
- 明治41 両校合併、鳥上尋常小学校に改称
- 大正8 鳥上尋常高等小学校と改称
- 昭和4 新校舎落成式
- 昭和11 校舎増築
- 昭和16 鳥上村国民学校と改称

鳥上小学校ホームページにも学校の沿革を掲載しています。



明治31年に竣工された校舎です。



戦時中の田植えの様子です。幟には「報國勤労隊」と書かれています。貴重な写真です。



昭和29年度入学写真  
1列目に18人が地べたに座っています。新入生だけで4列分です。旧校舎の玄関の屋根は威厳があります。



昭和40年代でしょうか？  
人文字で「トリカミ」と表されています。旧校舎とともに校庭を囲むように講堂や建物が並んでいます。



昭和51年7月 新校舎落成・開校百周年記念祝賀会での記念撮影です。昭和4年にできた前の校舎は半世紀の間、鳥上の子どもたちを受け入れてきました。写真ではピカピカの校舎をバックに背筋が伸びた子どもたちの姿勢に喜びがあふれているようです。



昭和50年ごろの自動車



大雪のなか、大きな岩のような塊(石碑にするためでしょうか?)を大勢で運んでおられます。(時期は不明)



笠(かさ)をかぶり、蓑(みの)をまとい、防寒対策も万全です。

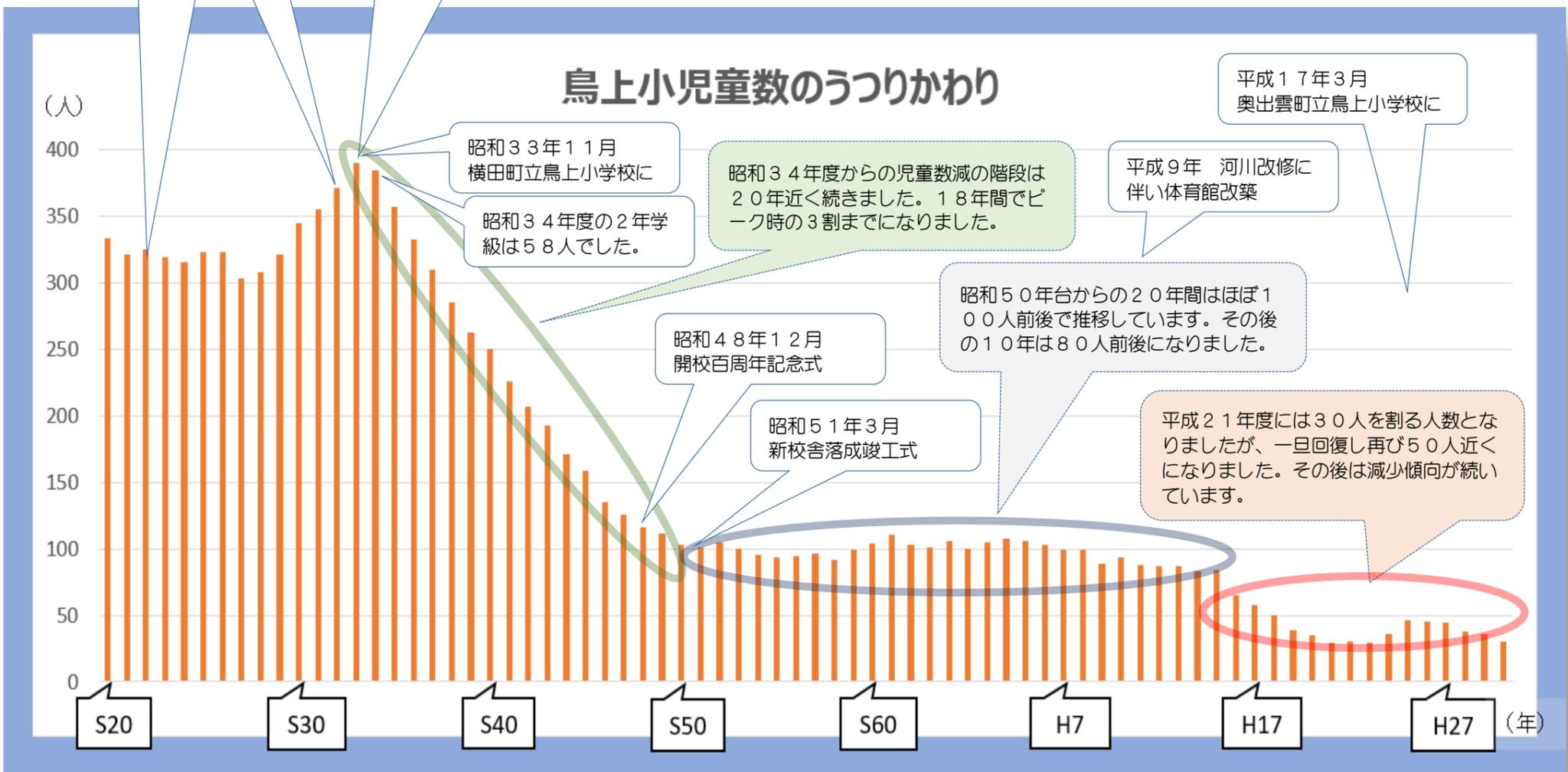
昭和35、36年には鳥上小学校船通山冬季分校が開設された記録が残っています。

昭和33年度学級別児童数

1年い組	28人	ろ組	29人
2年い組	33人	ろ組	33人
3年い組	30人	ろ組	31人
4年い組	35人	ろ組	34人
5年い組	38人	ろ組	38人
6年い組	30人	ろ組	31人



1976年(昭和51年)当時の写真です。体育館が川沿いにあり、渡り廊下で校舎とつながっていたようです。プールはまだありませんでした。



鳥上小学校のあゆみを紐解きながら、いつの時代も鳥上の中心に鳥上小学校があり、地域の皆さんに愛され育まれてきた学校であったということを感じました。  
8月2日に行われた「鳥上の未来を考える研修会」では、小学校の児童数の減少や登下校のなどを心配したご指摘もいただきました。児童数が減少する中、地域を支える志を持った人材づくりという視点からも鳥上小学校の役割は大きいと思います。地域の皆さん、保護者の皆さんとさらに連携を深めながら、鳥上を愛し鳥上を誇りに思う人材づくりを進めていきたいと思ひます。